

国柄探訪
平成24年3月11日付け

気は優しくて力持ち

自衛隊の人がづくり

自衛隊員たちは、被災地の過酷な環境の中で、なぜこんなに優しくできるのか。

(1) 自衛隊員たちの優しさ

「俺、自衛隊に入る」、ポツリとその小学生は言った。「なぜ」と聞かれて、こう理由を語った。津波に呑み込まれた父親が帰つてこないか、と毎日ずっと海を見つめていたところ、若い自衛官に声を掛けられた。そこに付む理由を話すと、その自衛官は何も言わずに肩に手を置いて、しばらくの間、一緒に海を見てくれたのだという。〔1、P8〕

3) 被災地で救援に従事している自衛隊の一隊が、あとも金庫にしまった成績表を引き上げたんです」と頼まれた。子供が行方不明のままの親御さんに、せめてもの形見にしてあげたいという。

泥沼の中から金庫を取り出すのは至難の業だったが、全員でなんとかやり遂げた。そこに観察中の上官が通りかかった。小隊長が慌てて、「すみませ

んでした。今後は捜索に集中しますので、今回だけは大変だった。そこで、すかさず隊員たちは、あ

くくなっているため、入る際の段差が高く、お年寄りには大変だった。そこで、すかさず隊員たちは、あ

くなく、心もホッと温まる。しかし、もともと隊員用なので、かなり湯船が深

くならない、心もホッと温まる。しかし、もともと隊員用なので、かなり湯船が深

場所で食べること」というルールを守っていた。

自衛隊員たちが腰を下ろして食事をしている所を見

たらどう思うか、という心遣いからだ。

しかし、すべてを津波で押し流された被災地で

車の中くらいしか、隠れて食事をできる場がな

い。そして、その車はつい今し方まで遺体を運搬し

ていた、という事もしばしばあった。

避難所では、自衛隊の持ち込んだ風呂が喜ばれ

た。もともと1個師団につき二つずつ配備されてい

るものだが、それ被災者に提供した。

テントの入

り口にのれんをかけて「〇〇の湯」と、その部隊

所在地の名前を書き込むだけで、被災者は体だけで

遺体を収容するのは、特に精神的にストレスが大き

い。一日の作業終了後には、隊で車座になって、そ

の日一日の苦しみ悲しみを吐き出したという。

暖かい食事を作る炊事車はあるが、被災者の食事

を優先するので、多くの場合、乾パン、缶詰、カ

レーなどのレトルト食品だけとなる。こういう食事

を、しかも不規則な時間に、かつ被災者に見られな

いように素早くついていると、野菜不足もありま

つて、ひどい便秘や口内炎に悩まされる。

また、上述のように、風呂も被災者に提供してい

て、隊員たちは当初は汗びきタオルで済まして

いた。

（2）細やかな心遣い

こうした優しさや心遣いは、思いやりのある人々でも出来るだろう。しかし、災害地で自衛隊の置かれた過酷な状況と使命を考え合わせたら、それ

が、常人のなせる業ではないことに気がつく。朝は6時頃から日没までは、ひたすら救援・捜査活動をする瓦礫の下に行方不明者が残っている

が、自分たちも「本当にもらつていいくんですか?あなたが食べる分がなくなってしまうのではないか」と何度も確認したそうだが、自衛隊員たちは必ず笑顔を浮かべて、「しっかりと食べてますか?大丈夫です」と答えたという。

厳密に言えば、自衛隊の食糧を流用したという意味でルール違反なのだが、目の前で苦しんでいる被災者をなんとしても救いたい、という純粋な気持ちから起きた行動であり、上官たちも見て見ぬふりをしていた。また食事をする際にも、「被災者の目に触れない」とついて、大変な費莫を放つ。しかし、事業仕分け

をしていた。被災者たちの救援で大変な毎日だったのに、自衛隊諸士はなぜこんなに優しくなれるのだろう。

毎日、朝から晩まで、被災者たちの救援で大変な毎日だったのに、自衛隊諸士はなぜこんなに優しくなれるのだろう。

（3）過酷な環境と使命

こうした優しさや心遣いは、思いやりのある人々でも出来るだろう。しかし、災害地で自衛隊の置かれた過酷な状況と使命を考え合わせたら、それ

が、常人のなせる業ではないことに気がつく。朝は6時頃から日没までは、ひたすら救援・捜査

活動をする瓦礫の下に行方不明者が残っている

が、自分たちも「本当にもらつていいくんですか?あなたが食べる分がなくなってしまうのではないか」と何度も確認したそうだが、自衛隊員たちは必ず笑顔を浮かべて、「しっかりと食べてますか?大丈夫です」と答えたという。

厳密に言えば、自衛隊の食糧を流用したという意味でルール違反なのだが、目の前で苦しんでいる被災者をなんとしても救いたい、という純粋な気持ちから起きた行動であり、上官たちも見て見ぬふりをしていた。また食事をする際にも、「被災者の目に触れない」とついて、大変な費莫を放つ。しかし、事業仕分け

をしていた。被災者たちの救援で大変な毎日だったのに、自衛隊諸士はなぜこんなに優しくなれるのだろう。

（4）「強くなれば優しくなれない」

その秘密を、かつてイラク支援の「ヒゲの隊長」として名を馳せた自衛隊OB佐藤正久氏(現・参議院議員)、「a」は、「強くなれば優しくなれない」として、こう説明している。

訓練しているから」と、こう説明している。

基本的に自衛隊員たちは、朝6時に起床すると、そのままタ方までハードな肉体鍛錬や各種訓練に明

る。その後、自衛隊員たちは、朝は6時頃から日没までは、ひたすら救援・捜査活動をして、野球やサッカーなどのス

ポーツにも励んでいます。一日中、野外で立ちっぱなし、動きっぱ

なれない」

（5）集団生活から育つ

自衛隊員たちは、朝6時に起床すると、そのままタ方までハードな肉体鍛錬や各種訓練に明る。その後、自衛隊員たちは、朝は6時頃から日没までは、ひたすら救援・捜査活動をして、野球やサッカーなどのス

ポーツにも励んでいます。一日中、野外で立ちっぱなし、動きっぱ

なれない」

（6）「自衛隊は教育の場

（5）集団生活から育つ

（6）「自衛隊は教育の場

（5）集団生活から育つ

（6）「自衛隊は教育の場

（5）集団生活から育つ

独立目指し、遊牧民蜂起

マリ、元カダフイ派も合流

（5）集団生活から育つ

（6）「自衛隊は教育の場

冠婚葬祭

イビウーナ 濑尾 正弘

日本では古来より元服、婚礼、葬儀が祖先の祭祀が最も重要なものとされ、この四つが大きな儀式として行なわれてきた。元服は元来男子が成年式である。然し現代は時代も移り変わり、平等となり、元服は男女青年が20歳を迎えて祝う成人式である。

式に取って代った。

笠戸丸以来の日本移民

の冠婚葬祭の過去の実態を振り返って調べて見ると面白い(移民社会の生活の実態として貴重な資料)とおもう。既に資料としては、日本移民史館にも少し展示されている。ことに結婚問題については様々なケースがあり、その実態を記録として遺す事は意義深い。

前記したことに当たつて日本からの移住者はまず、其々の故郷の習慣

として取り入れて行つた

が、今は樂で抑えても

かなければ、といつもの定期健診の血液検査の結果を見ながら言われる。

りも健康が最大の課題で

はないだろうか。私は係りつけの医者から「座

りっぱなしの事務作業で

は毎日最低1時間は歩

かなければ」といつもの

料館としても全く堪え

ない。だが朝起きが悪

いようなどと云つてい

る。だから全然やる気が

ないでいつもサボつて

いる。ところが弟はそれ

が苦手なので「ラジオ

を聴いて朝起きが悪

いようだが、弟も朝起き

が悪く、早起きして歩けなど

いう注文が一番苦にな

る。だから全然やる気が

ないでいつもサボつて

いる。だから弟はそれ

が苦手なので「ラジオ

を聴いて朝起きが悪

いようだが、弟も朝起き

が悪く、早起きして歩けなど

いう注文が一番苦にな

る。だから全然やる気が

ないでいつもサボつて

二つの立ち入り禁止区域 原発事故の後を記録



「ブリビヤチ」の1シーン

【共同】事故が起きた後の原子力発電所近くの、二つの「立ち入り禁止区域」を記録したドキュメンタリー映画が相次いで上映される。オーストリアの「ブリビヤチ」と、日本の「立入禁止区域」。

「ブリビヤチ」は、チエルノブリから4キロの町の事故から12年後の暮らしを記録する。住んでいた家が荒れていくのを嘆く女性避難先から

止区域 双葉「されど我故郷」だ。

1999年製作の「ブリビヤチ」は、チエルノブリから4キロの町の事故から12年後の暮らしを記録する。住んでいた家が荒れていくのを嘆く女性避難先から

止区域 双葉「されど我故郷」だ。

身者らでつくった製作委員会による企画第1弾で、双葉高校が母校の佐藤武光監督が、東京電力福島第一原発事故の後立ち入り禁止区域内の自宅に

放射線量測定に通う人や元原発作業員 故郷を離

域」。福島県双葉郡出

城」。福島県双葉郡出

城」。福島県双葉郡出</p



「いい施設だと思っていたけれど、残念」という徳永さん

医師がモジの病院の担当として「訴訟をやめさせたのでは」と推測している。同医師に本紙が尋ねると、「訴訟をやめさせたのでは」と答えた。徳永さんは、「入居時は数日間でこんなに黒くなるのはがない」と徳永さんに話していたといふ。徳永さんは、「入居時は記憶しているとのことだつた」。

根塚木一郎「施設はいいが医者は…」

徳永さんは、イヴァン医師と話して「訴訟をやめさせたのでは」と推測している。同医師に本紙が尋ねると、「訴訟をやめさせたのでは」と答えた。徳永さんは、「入居時は数日間でこんなに黒くなるのはない」と徳永さんに話していたといふ。徳永さんは、「入居時は記憶しているとのことだつた」。

イペランジヤホー今で誤診？ 音元が手遅れまで放置か

(下)

徳永さんは、イヴァン医師と話して「訴訟をやめさせたのでは」と推測している。同医師に本紙が尋ねると、「訴訟をやめさせたのでは」と答えた。徳永さんは、「入居時は数日間でこんなに黒くなるのはない」と徳永さんに話していたといふ。徳永さんは、「入居時は記憶しているとのことだつた」。

徳永さんは、イヴァン医師と話して「訴訟をやめさせたのでは」と推測している。同医師に本紙が尋ねると、「訴訟をやめさせたのでは」と答えた。徳永さんは、「入居時は数日間でこんなに黒くなるのはない」と徳永さんに話していたといふ。徳永さんは、「入居時は記憶しているとのことだつた」。

徳永さんは、「入居時は記憶しているとのことだつた」。

みんかん い たく 査証発給業務 民間委託ついにスタート

さくしよ はっしょ む ゆうぎょう めいぎょう

査証発給業務

きゅうぎょう めいぎょう

